



こんにちは **日本共産党** 京都市会議員

9月
決算市会
報告

玉本なるみ

です

mail shikai@tamamoto-narumi.jp

玉本なるみ



代表質問しました。

介護保険を『国家的詐欺』に していいの！

京都市は、介護保険の保険者です。国が制度の改悪を進めてくる中で、市民の命や介護を守る立場で、国に対して反対の声をあげる必要があります。しかし、国に従う態度でした。このまま、制度の改悪を許せば、まさに『国家的詐欺』の制度になってしまう点を厳しく追及しました。

障害者施策の改善を！

障害のある方の親御さんから「親亡き後のこの子の暮らしがどうなるのか心配」という声をよくお聞きします。高齢化が進む親御さんの不安は特に強く、できれば、住みなれた地域で、グループホーム等がほしいという要望を受け、京都市が独自の補助制度も作り、建設を進めるよう求めました。市長は「国の補助金が得られるよう求める」と消極的な答弁でした。

市バス特37号系統の 路線とダイヤの拡充を！



柘野（西賀茂）地域に走り出した京都市バス特37号系統は、本数が一日7本で、走行路線も、必要とされている西賀茂北部を走っていません。こんな現状で、「バスにもっと乗ろう」と提案しても、限界があります。バスの便を増やし、走行ルートも拡充するよう強く求めました。

パネルを持って代表質問する
玉本なるみ市議

全員制のあたたかい 中学校給食を！



京都市の中学校給食は15年前から、家庭からの弁当と外部委託の弁当式の給食を選択する仕組みになっています。しかし、最近大規模な統廃合でつくられている小中一貫校では、小学校と同じく、中学も自校方式の給食になっています。

市内で格差が生まれています。教育委員会は、全体でできない理由は財政負担が大きいということ、家庭からの弁当を食育教育だと評価しているとしています。子どもにお金をもっと回すこと、なぜ家庭の弁当が食育教育となるのか、引き続き追及していきます。

全員制給食への希望について、児童・生徒や保護者の意見を聞くよう求めました。



引き揚げ桟橋は再現されたもの

先日、日本共産党北区の後援会で、舞鶴の引き揚げ記念館に日帰りで行ってきました。舞鶴出身の平和委員会の方に来ていただき、原爆模擬弾が投下され、被害があったこと、浮島丸事件のことなど、お話ししていただきました。記念館の語り部の女性のお話も、引き揚げの時、8歳だったとのこと、実感をこもったガイドで、とても勉強になりました。戦争体験者の方は高齢になって来られています。戦後生まれの私たちが、いかに「二度と繰り返してはならない」という立場で、伝えていく力をつけ、運動を広げることが問われます。戦争への道に突き進む安倍政権に痛打を与えなくては！

平和の
願いを
語り継ぐこと



アンテナ